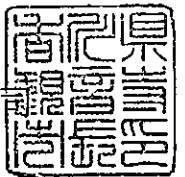


20 観 建 第 732 号
平成 20 年 10 月 6 日

国土交通省道路局長 殿

観音寺市長 白川晴



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

このことについて、平成 20 年 9 月 19 日付国土国道企第 37 号にてご照会がありましたので、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

香川県観音寺市

① 道路特定財源の一般財源化について

今後の道路特定財源の一般財源化の議論においては、税の受益と負担の関係の整合を図るとともに、厳しい地方財政の状況を踏まえ、これまでの道路特定財源として確保してきた財源総額の維持・確保に努めること。

② 道路構造令の見直しについて

第 10 条の 2 第 2 項 自転車歩行車道の幅員の改正

趣旨：

平成 20 年 6 月 1 日に道路交通法が改正され、自転車は自転車及び歩行者専用の標識が無い歩道ではいままで通り車道通行をしなければなりませんし、自転車通行止めのところを走行すると罰金等の処罰があります。

地方部におきましては、歩道幅員が 2.5m 程度の箇所が多くあり、道路構造令からしますと歩道の扱いとなり、自転車の走行が出来ないので、車道部を走行しなければなりません。歩道の通行量によりますが、2.5m 程度の幅員を有する歩道を自転車歩行者道として自転車通行を可能とし、自転車の安全を確保するものであります。

このようなことから、自転車歩行車道の幅員を都市部及び地方部等で運用できる制度に改正をお願いするものであります。

③ 地方道路整備臨時交付金制度について

地方にとって使い勝手の良い地方道路整備臨時交付金制度の更なる拡充を図ること。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

香川県観音寺市

④ まちづくり交付金事業を活用した道路整備について

まちづくり交付金事業は、都市再生整備計画の策定が必要であり、策定に向けては計画区域を定め、総合的・戦略的にソフトやハードの様々な事業を連携的に実施することで、都市の再生を図る制度であります。現在の各自治体においては非常に厳しい財政事情等もあることから道路事業を中心として制度を活用する場合、様々な事業の組み合わせが困難な場合があります。

本市においても、現在まちづくり交付金事業により、道路事業・地域生活基盤施設事業(広場)・高質空間形成施設事業(モニュメント)により中心市街地での、安全で快適な交通流の確保と、商業活性化に向けた事業展開をしているところです。

今後においては、道路特定財源との関係からも、まちづくり交付金事業のなかで基幹事業(道路)のみでも整備計画として採択の対象となるような新たな仕組みを要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題

香川県観音寺市

① 国道 11 号豊中観音寺拡幅事業の整備促進

西讃地域を貫く、国道 11 号は地域の最も重要な幹線道路であり、四国四県の中央部に位置する本地域にとって、「人」・「もの」・「情報」の交流を支援する『命の道』であります。近年は、交通量も一日当たり 2 万 5 千台を越えており、朝夕を中心に慢性的な交通渋滞が発生し、日常生活あるいは経済活動に深刻な影響を及ぼしています。

また、事故危険箇所指定されている交差点があり交通事故も多く、加えて歩道のない区間もあり、歩行者や自転車のすぐ横を大型車が通過するという危険な状態にあります。

このようなことから、当地域の活性化や広域的な地域間交流を促進するとともに、交通渋滞の解消、歩行者・自転車の交通安全の確保、さらには、高齢者の事故防止などの諸課題に積極的に対応するため、さぬき豊中 IC から観音寺市の中心市街地へのアクセス強化と地域を連結する国道 11 号の早期整備が望まれています。

② 国道 11 号豊浜川之江間の防災対策事業の整備促進

観音寺市豊浜町と愛媛県四国中央市を連絡する道路は、国道 11 号、県道大野原川之江線及び高速道路の 3 路線であり、日常的に利用できるのは国道 11 号であります。平成 16 年の災害時にはすべての道路が通行不能となりました。

将来の道州制を見据えると同時に、防災対策等安全で快適な生活環境づくりを推進するために、国道 11 号の防災対策等の整備促進が重要な課題であります。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題

香川県観音寺市

③ 県道観音寺佐野線の整備事業

本市は、平成 17 年に近隣町と合併をいたしました。このため、合併後の旧市町間を結ぶ県道観音寺佐野線は、新市の骨格となる道路との位置づけから、合併支援道路として県において整備が進められることとなっております。

県道観音寺佐野線は、旧大野原町と観音寺市中心市街地へのアクセス道路であるが、大野原町下組から杵田町黒渕までの約 L=1.8 キロメートルの区間は、片側 1 車線で道路幅員約 7 メートルと狭く、朝夕の通学・通勤時間帯には、大野原町から市内の事業所や高等学校、JR 観音寺駅へ向かう自転車と自動車が狭い道路で輻輳しており大変危険な状況にあります。

県におきましては、財政的な要因から未だ事業着手の目途がたっておりませんので、一日も早く道路拡幅並びに自転車歩行車道の交通安全施設等の整備が喫緊の課題であります。

④ 市道の待避所等の整備事業

市道においては、幅員が狭小で自動車が対向できない路線が数多くあり、地元から数箇所の待避所の設置要望がありますが、物件等があり事業費も相当かかる事案のため、市単独事業では実施できない状況であります。このため、可能な限り現道の活用を図り、見通し確保や待避所設置などの局部的改良が必要であります。

⑤ 橋りょうの補修・更新事業

本市には、橋長 2.0m 以上の橋は 363 橋で、その内橋長 20m 以上は 35 橋であります。その建設年次は、昭和 29 年以前が 1 橋、昭和 30 年代が 1 橋、昭和 40 年代が 16 橋、昭和 50 年以降が 14 橋、平成元年以降が 3 橋となっており、20 年後には約半数の橋梁が建設後 50 年を経過いたします。このために、長寿命化修繕計画を策定し、道路ネットワークとしての重要性・緊急性を踏まえ、定期点検、日常的な維持管理に加え、個々の橋に対して最も効率的・効果的な修繕を計画的に実施し、橋梁の長寿命化を図る必要があります。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題

香川県観音寺市

⑥ 県道の拡幅整備の促進

県道の拡幅及び交通安全対策事業等については、香川県において順次整備を進めているところであります。

特に、県道丸亀詫間豊浜線、黒淵本大線、大野原善通寺線、込野観音寺線、観音寺善通寺線、観音寺池田線、丸井萩原豊浜線、国道 377 号、大野原川之江線、先林姫浜線、観音寺栗井線、福田原観音寺線、観音寺佐野線等で事業を実施しておりますが、県の財政的要因で事業の進捗が遅延しておりますので、早期の整備が望まれます。

⑦ 市道の拡幅整備の促進

市道のうち、幹線的な道路と市民生活に付随した生活道路があります。

生活道路につきましては、地元等からの拡幅整備の要望が多くあり、必要性及び緊急性を勘案する中で事業を実施しておりますが、地方の財政状況も非常に厳しく、事業着手が遅延している状況であります。

⑧ 市道に隣接する老朽家屋の市道への倒壊の危険予防措置

近年の高齢化や核家族化に伴い、所有者の不明な空家及び高齢者が所有する家屋等が老朽化して、市道に倒壊の恐れがある事案が発生しており、その処置等に変苦慮しております。現在は、道路に危険防止のバリケード等を講ずる程度の処置であります。

今後の道路行政についての意見・提案

②—2 地域の目指すべき将来像

香川県観音寺市

① 道路・交通網の整備

本市ではこれまで、関係機関と連携しながら道路網の整備を計画的に進めてきましたが、交通量の増加や車両の大型化、さらには、高齢化が進む中で、より一層安全で便利な道路網・道路環境整備が求められています。また、広域交通基盤の強化のため、高松自動車道豊中 IC へのアクセスの一層の向上、旧市町間連絡道路の整備、中心市街地の拠点機能の強化を見据えた道路網の整備が課題となっているほか、老朽化が進んでいる橋梁の補修・更新や環境・景観に配慮したうるおいのある道づくりが課題となっております。

市民が主役 わたしのふるさと かんおんじ
 ～ 人・文化・自然 いきいき輝く 元気都市 ～

このキャッチフレーズは、合併後、市民と行政が力を合わせ、ふるさと観音寺の歴史と自然、社会的特性を生かした、豊かな地域づくりを目指していこうとの願いを込めた、市の将来像であります。市民が安心して、かつ生き活きと暮らすことができ、各地域が個性を活かして連携するまち、そして交流と定住が図られるよう、誰もが「行きたい、住みたい、住み続けたい」と思える魅力あるまちの創造に取り組んでいます。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

香川県観音寺市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
都市交通の快適性、利便性の向上	国道 11 号豊中観音寺拡幅事業 都市計画街路の整備促進	交通渋滞の解消、交通事故抑止 歩行者・自転車の安全確保 所要時間の短縮	
水害等の災害に強い国土づくり	国道 11 号豊浜川之江間の防災対策事業	災害時の通行止め解消、交通事故抑止、交通渋滞の解消、所要時間の短縮	
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	県道及び市道の一体的な道路網の整備 国道 11 号の交差点改良及び自転車歩行車道の整備促進 踏切の 1 種化（保安設備の整備）	交通事故の抑止、歩行者・自転車の安全確保、交通渋滞の解消、個性ある地域の創出、所要時間の短縮	
少子・高齢社会に対応した子育て環境・バリアフリー社会の形成	既存歩道の段差の解消及び誘導ブロックの設置	高齢者や障害者の移動の円滑化	

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

香川県観音寺市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
大規模な地震、火災に強い国土づくり	橋梁の落橋防止装置の設置	地震時の道路交通の円滑化及び通行止めの解消	
計画的・効率的な維持管理や更新の推進	橋梁の長寿命化対策事業	維持管理コストの縮減、適正な維持管理、長寿命化	
国際競争力の強化のための交通サービスの向上	高速道路料金の低減 四国8の字ネットワークの早期整備	高速道路利用者の増加と幹線道路の渋滞緩和、交流人口の増加	
地球温暖化の防止	公共交通機関である市内のりあいバスのさらなる充実	公共交通機関を充実することによりCO2の削減	

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

香川県観音寺市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	まちづくり交付金事業 ・内環状道路の整備	まちづくり協議会の設置 ・地元住民との官民協働によるまちづくりの推進が図れる。 ・市街地の活性化や景観形成、また交通安全対策、防災対策等の効果が見込まれる。	